



四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

那賀高校生へ森林環境教育を行いました

徳島県立那賀高校**森林クリエイト科3年生**への最後となる森林環境教育(9回目)を1月14日に行いました。最後の森林環境教育では、徳島県南部総合県民局からも3名に参加していただき、2つのテーマ(①地域材や県産材の需要を拡大するため、どのような取組が必要か②担い手育成のためには、どのような取組が必要か)でグループ討議を行いました。

生徒からは、「県産材をブランド化する」「海外へ輸出する」「幼い頃から木に触れる体験を実施する」など、積極的な意見が出されました。また最後に全員から徳島署の森林環境教育で3年間学んだ感想をいただき、様々な視点から、より深く森林・林業を知ることができた等の意見が出されました。皆さんの新たな進路でのご活躍をお祈りいたします。



グループ討議の様子



討議内容の発表



県民局職員による総評



署長による総評

シラクチカスラの取り組みを発表しました

1月22日、高知市の四国森林管理局で開催された、「令和元年度 四国森林・林業研究発表会」において、祖谷のかずら橋の架け替え資材である、シラクチカスラの資源の保全と活用にかかる取り組みについて、三好市教育委員会 文化財課と共同の研究発表を行いました。

祖谷のかずら橋は、3~5年毎に架け替え作業が行われ、1回に使用される資材は約6トンが必要とされますが、利用できるまで約20~30年が必要で、資材は年々減少しています。

今回、資材の安定供給のため国有林を提供し、シラクチカスラ苗の増殖を行ってきた関係者との取組を発表しました。

発表の結果、**最優秀賞を受賞**し、**今秋、四国を代表して林野庁での発表**の機会を得ることが出来ました。



発表会場の様子



シラクチカスラの展示状況



三好市の担当者との記念撮影



授賞式の様子

砂防・治山地方連絡調整会議が開催されました

1月28日、徳島県庁会議室において、**砂防・治山地方連絡調整会議**が開催されました。この会議は、毎年この時期に開催しているもので、四国森林管理局・徳島森林管理署、四国地方整備局・四国山地砂防事務所及び徳島県(砂防・治山部局)の4機関が次年度事業について調整を図り、それぞれの事業が効果的に実施されることを目的としています。

まず、徳島県砂防防災課長から「効果的な事業運営のためには、このような各関係機関の調整を図るための場が重要である」との旨の挨拶がありました。そして、各担当者による事業の実施状況の説明の後、部局ごとに事業地の確認などの調整が行われました。

徳島署では、関係機関と連携し、効果的・効率的な治山事業の運営に資する取組を推進してまいります。



県砂防防災課長の挨拶



県砂防防災課との調整



県森林整備課との調整



四国地方整備局との調整



徳島県庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林